



地域を愛し、地域に愛される社協を目指して

第25号 2024 2/15発行

公津地区 社協だより

〈主な内容〉

敬老会	1～2
福祉体験学習	3
飯田町元気クラブの紹介	4

発行者 公津地区社会福祉協議会
責任者 宮本賢治
連絡先 080-6619-4277



4年ぶりの公津地区敬老会
でした。
会場は、成田国際文化会館

宗和會



成田山新勝寺雅楽部



宗吾保育園



笑顔もほっこり
公津地区敬老会
地域ぐるみの
長寿のお祝い

九月十八日（月・祝日）、四年ぶりの公津地区敬老会が、成田国際文化会館で開催されました。

当日は、まだ残暑厳しいなか、満七十二歳以上の三百四十一名の皆さんが、八台のバスやご家族の送迎で集まりました。

式典で、小泉市長、神崎市議会議長のご祝辞を頂きました。

演芸では、宗吾保育園児の可愛らしいお遊戯、厳かな雅楽の演奏、映像による成田市西部地域包括支援センターのお知らせ。そして、威勢のいい宗吾藝座連と宗和会によるお囃子と踊りで幕を閉じ、あつという間の二時間でした。

来年もまた、笑顔あふれる楽しい敬老会が開催できますよう尽力いたします。



舞台にくぎ付け



「おじいちゃん、おばあちゃん
いつまでも元気でいてね」



かっこいいよ！



心に響く越殿楽

参加者の声（アンケートより）

- ラーメンたいそう、楽しかった。お囃子と踊りは、一緒に踊りたくなった。
- 包括支援センターのお知らせは、とてもためになったし、どんなことをしているのかわかりやすかった。
- 雅楽の演奏と雅楽紹介がよく分かった。
- 次の敬老会では、落語、昭和の歌（カラオケ）、ゲームなどがあつたらいい！



福祉体験学習

～声かけを大切に～

十一月十日、西中学校一年生五クラスを対象に福祉体験学習が行われました。車椅子での移動と介助の体験、アイマスクをつけての歩行、食事の時のクロックポジションの体験です。目が見えない体が思うように動かないことは、どのように大変なのかを身をもって体験しました。

そして、そのような状況になった時に、補助してくれるパートナーがいると心強いことを感じてくれたようです。

十一月二十一日には、平成小学校五年生三クラスで行いました。車椅子に乗ることやアイマスクをつけての歩行は初めての体験。真剣な態度で取り組んでいました。介助をする児童は、「段差があります」など、相手に対して注意を促す言葉かけがよくできていました。

この体験を生かして

相手の立場に立って声かけをし、行動ができる

人になつてほしいと思います。



(児童部副会長 谷優)



安心して下りてね!

私の肩につかまって！
白杖をつけて階段を下ります

西中女子生徒の感想

介助される側の時は、安心して任せられました。介助する側の時は相手のために働いて、やりがいを感じました。お互いの信頼関係が大切だと思いました。

僕の腕につかまって！



両手をさしのべて

★福祉体験学習を終えた児童に聞いてみました。

○階段を下りる時が一番怖かったです。「杖でポンポン階段ついて」と言ってくれたのでよかったです。

○相手の肩と声かけ、杖があったので体験がよくなりました。

孤独・孤立の防止に向けて

～つながりを求めて～

十月十七日、公津地区コミュニティセンターで公津地区小ケア会議が行われました。成田市生活支援コーディネーター松田裕児さんを講師に招き、「つながりを求めて」をテーマに孤独・孤立対策推進法の成立過程を詳しく説明して頂きました。

これから求められる社会のあり方として、一人一人が活躍できる社会があるべき姿であると述べておられました。

その後、ケアマネージャー、訪問介護士、薬剤師、民生委員・児童委員の班に分かれて、孤独・孤立になる可能性の高い方に、どのようなことができるかを話し合いました。

「予知することは難しく、地域を熟知している民生委員の方の力を借りる必要がある」「行事や祭りの準備を見に来てはどうか誘うなどして、コミュニケーションをとる方法もあるのではないか」等の意見が出されました。

人と人とのつながりが重要であり、改めて地域の関係機関との連携を深めていきたいと思います。



認知症サポーター養成講座

～自尊心を傷つけない～

十二月二日に、公津地区コミュニティセンターで、自治会長の方々も参加されて、認知症サポーター養成講座が開催されました。成田市西部西地域包括支援センターの木下知子さんが講師で、認知症についての解説を分かりやすく話してくれました。

講座の目的は、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守り、認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせる街を皆で作っていくことです。



高齢化社会を突き進む日本にとつて、八十歳代になると五人に一人が「認知症」を発症すると言われています。対応の基本姿勢として、①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない、があげられます。

今回の講座を受講したことにより、認知症サポーターは、認知症の人や家族に対し、何か特別なことをするのではなく「応援者」として温かい目で見守ることが重要であると再認識しました。

♡ 飯田町元気クラブ♡ 《イキイキサロン》

飯田町元気クラブは、飯田町長寿会・東向台健康体操クラブ・旭ヶ丘自治会の近隣三町内協同で活動をはじめ、既に四回開催しました。活動に当たっては、成田市役所関係各所、地域包括支援センター、区、自治会等のご支援ご協力を頂いています。

テーマを「イキイキサロン」とし、会場は飯田町公民館・東向台公民館で行い、第一回を令和四年九月十五日に実施しました。第四回目を令和五年十月五日に行い、毎回三十名以上の参加があり「笑顔・活気」で溢れていました。

それでは具体的な活動内容を紹介します。軽い体操・輪投げ・スカットボール・血圧測定・握力測定・腹筋測定・片足立ち測定・前屈測定・背筋測定・ジャンケン・漢字の色々配列当てゲーム、『もみじ』や『あなたがたどこさ』の合唱を行いました。



また会いましょうね

また、成田市出前講座、成田市西部西地域包括支援センター看護師により「水分補給の大切さ」をテーマに講演して頂きました。これまでの「イキイキサロン」を振り返り、参加者の方々から「楽しいひと時でした。また是非参加します。次はいつ頃？」のお声かけを頂いています。

今後も、皆さんの「活力剤」となりますよう、スタッフ一同張り切っています。



ハイポーズ



子どもに戻った！



ハッスルジャンケン

編集後記

3年間コロナ感染症のため中止となっていました敬老会が盛大に開催することができました。少しずつ以前の活動が再開されています。今後も、皆さんと交流ができましたことを、より多く発信させて頂きます。



《編集委員》

石原 幸二・鎌田 薫
櫻井 淳子・谷 亮子・丸 広美

「グループホーム きらら公津の杜」の紹介



要支援2以上の認定を受け、認知症の診断をされた高齢者が少数で共同生活を送る地域密着型の施設です。家庭的な環境と地域住民との交流、レクリエーションも含め、その方に必要な介護を提供しています。

管理者 櫻井 淳子

『ふれあい・いきいきサロン』 バス旅行のお知らせ

★催行日：令和6年3月14日(木)

★行き先：大洗、那珂湊方面

★参加費：2,000円

★対象：台方、下方、飯仲、公津の杜に居住の70歳以上の方



締め切りは2月15日までですが、それ以降の希望者は班長又は区長にご相談ください。